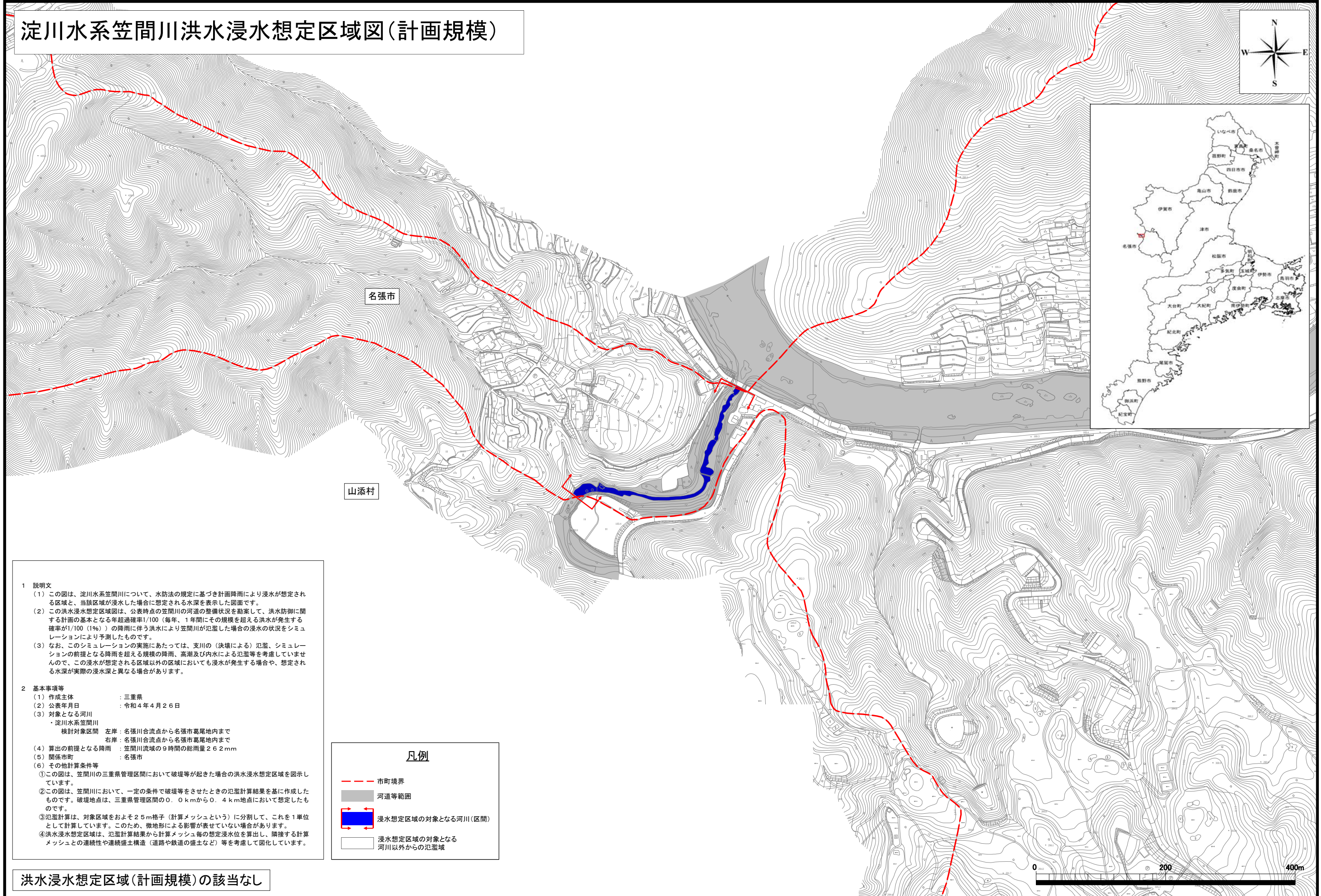
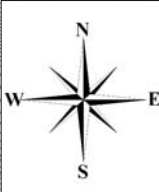


淀川水系笠間川洪水浸水想定区域図(計画規模)



- 1 説明文**
- この図は、淀川水系笠間川について、水防法の規定に基づき計画降雨により浸水が想定される区域と、当該区域が浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。
 - この洪水浸水想定区域図は、公表時点の笠間川の河道の整備状況を勘案して、洪水防御に関する計画の基本となる年超過確率1/100(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/100(1%)の降雨に伴う洪水により笠間川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。
 - なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川の(決壊による)氾濫、シミュレーションの前堤となる降雨を超える規模の降雨、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この浸水が想定される区域以外の区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。
- 2 基本事項等**
- 作成主体 : 三重県
 - 公表年月日 : 令和4年4月26日
 - 対象となる河川
 - ・淀川水系笠間川
 - 検討対象区間

左岸	: 名張川合流点から名張市葛尾地内まで
右岸	: 名張川合流点から名張市葛尾地内まで
 - 算出の前堤となる降雨 : 笠間川流域の9時間の総雨量26.2mm
 - 関係市町 : 名張市
 - その他計算条件等
 - この図は、笠間川の三重県管理区間において破堤等が起きた場合の洪水浸水想定区域を図示しています。
 - この図は、笠間川において、一定の条件で破堤等をさせたときの氾濫計算結果を基に作成したものです。破堤地点は、三重県管理区間の0.0kmから0.4km地点において想定したものです。
 - 氾濫計算は、対象区域をおよそ25m格子(計算メッシュという)に分割して、これを1単位として計算しています。このため、微地形による影響が表せていない場合があります。
 - 洪水浸水想定区域は、氾濫計算結果から計算メッシュ毎の想定浸水位を算出し、隣接する計算メッシュとの連続性や連続盛土構造(道路や鉄道の盛土など)等を考慮して図化しています。

凡例

- 市町境界
- 河道等範囲
- 浸水想定区域の対象となる河川(区間)
- 浸水想定区域の対象となる河川以外からの氾濫域

洪水浸水想定区域(計画規模)の該当なし

この地図は三重県市町総合事務組合管理者の承認を得て、同組合所管の「2017三重県共有デジタル地図(数値地形図2500(道路線1000))」を使用し、調製したものである。(承認番号:三総合地第24号)
本成果を複製あるいは使用して地図を調製する場合は、同組合の承認を必要とする。